

【榎本館長からのメッセージ】

こここのころ、雨の日が続きますね。思い返せば、この夏も雨が続き日照も悪く、すっきりしない日が多く続きました。秋になればと期待を持ちましたが、殆どの週末が、台風や低気圧の影響で、はつきりしない日が続くことになってしまいました。加えて、このところ急激に寒さが増したり、また急激に暑くなるという極端な日が続いております。皆様お体には十分お気を付けください。

さて、11月の夢の島は、寒くてもまだ文化の秋！今年も、「子どもしぜん科学大賞」・「子ども絵画コンクール」・「ウィークエンドコンサート」など目白押し。また、ハロウィンが過ぎてしまい、『まだ写真撮れていなかったのに…』という方は夢の島へ！当館ではカボチャが自然と朽ちるまで前庭に展示しております。まだ遅くはありません。是非本物を体感しにお越しください。 館長



季節イベントの紹介（イベント・展示担当：関）

すっかり秋めいたこの頃、もうすぐ冬を感じさせる寒い日もありますね。熱帯植物館に温まりに来ませんか？南国の植物たちとともにお待ちしております。11月の企画展は「ふしぎな植物の世界」。植物のふしぎは過酷な環境でもたくましく生き、祖先を繋いできた植物の知恵にあります。世界のふしぎな植物を身近に感じてみませんか？また後半は貴重なランの展示をする「夢の島ラン展」です。とっぴり植物三味はいかがでしょうか？

【11月の企画展】

- 「ふしぎな植物の世界」(11/7～11/26)
- 《関連イベント》 「多肉の寄せ植え(ギャザリング)教室」(11/25)
- 「夢の島ラン展」(11/28～12/24)
- 《季節イベント》 「ウィークエンドコンサート」(11/4、18) 「ハーブの学校」(11/5)
- 「森の学校」(11/11) 「オリジナルカレンダープレゼント」(11/19)
- 「第14回子どもしぜん科学大賞 発表会&表彰式」(11/11)
- 「空中散歩体験」(11/11)

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館にお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介（植物館植栽担当：横平）

オウゴチョウ、サンタンカ、デイゴの3種は沖縄の三大名花とされ、当館でもお客様によく親しまれている花木です。そのうちの一つ、オウゴチョウは西インド諸島が原産地といわれ、今では、広く熱帯地域で植栽されています。枝には刺がある他、花から根まですべての部分が薬用として利用できるそうです。

「オウゴチョウ」は和名で、漢字では「黄胡蝶」と書きます。遠くから見ると、風にそよいでいる花の様子がまるでたくさん蝶が舞っているように見えることからつけられたのでしょうか。英名は Peacock flower の他、カリブ海に浮かぶ島国・バルバドスの国花であることから、Barbados flower-fence や Barbados pride などバルバドスの名が入っているものが多いようです。また、バルバドスの国旗の中にもこの花は描かれています。花は、春から秋にかけて咲きます。枝先につく花序は写真のように円形で可愛らしく、花弁がフリルのように縮れています。さらに長く突出した雄しべとのバランスも美しく、鑑賞価値の高い庭木として植栽されています。花は木々の緑のなかで目立つ色彩ですが、ピンと反り返る雄しべなどを見ると繊細な美しさも感じられます。熱帯から連想される激しさとは対照な部分が、この花の人気の理由かもしれません。



▲花弁が黄色のオウゴチョウ（マメ科）



▶紅色の花弁種

今月の花と実



▲サガリバナ



▲ホルムシオルディア・サングイネア



▲カタセツム・サッカツム

♪ この時期の人気者 ♪

短日時期なうえ、雨続きで日照も減りがち。低温で暗いそんな日は、なんと夜咲きの「サガリバナ」の花持ちがよく、朝まで鑑賞できます。

頭上ではスターフルーツや、タコの実、バナナがお出迎え。全開しないハイビスカスの名前は「うなずき姫芙蓉」。そのほか、変わった蘭も続々開花!! お楽しみに。

【サービスタウン】
11/11～11/30
コーヒータウン
紅茶
林檎

予告：次回は 11/25 の発行予定です。